

## 放送視聴票 第 5 回 (bijyutu202509 + bijyutu202510)

### ■ bijyutu202509 : 日本美術

#### 【カワイイアート】

日本人の感性や美意識のひとつに「かわいい」があります。江戸時代の絵に登場する動物やキャラクター的な表現は、現代のアニメやゆるキャラにも通じるものがあります。

「Kawaii」は今や世界的な文化になっており、日本の感性がいかに独自であり、世界から注目されているかわかります。

#### 【琳派】

俵屋宗達、尾形光琳、酒井抱一、鈴木其一と続く琳派の表現は、装飾性や大胆な構図が特徴です。

金箔や銀箔の背景に平面的なモチーフをあしらい、現実の再現ではなく「美としての形」を追求します。

作品の構図やテーマが受け継がれていく様子は、文化の継承と創造の在り方を示しています。

#### 【ジャポニスム】

19 世紀、浮世絵などの日本美術は印象派の画家たちに大きな影響を与えました。平面性・装飾性・構図の大胆さは、ゴッホやマネなどに取り入れられています。

また、それ以前の柿右衛門様式の磁器などが西洋に与えた影響も、ジャポネズリーとして文化的な前兆となっています。

日本美術の影響は、視覚芸術だけでなく思想や美意識にまで及んでいます。

### ■ bijyutu202510 : 複製

#### 【本物と複製の違い】

「まね」はよくないとされる一方で、敬意を込めて先人の作品を引用・参照・翻案・パロディ・オマージュといった形で再構成するのは、美術の伝統的な表現手法です。

単なる模倣ではなく、自分なりの解釈や主題を込めることが「表現」としての複製です。

#### 【複製芸術の歴史】

ジョルジョーネの『眠れるヴィーナス』→ティツィアーノの『ウルビーノのヴィーナス』→マネの『オランピア』へと続く一連の流れは、有名な複製・再構成の系譜です。

琳派の系譜やジャポニスムも、異文化・異時代の表現を受け継ぎ、新たに再解釈する行為といえます。

#### 【現代の複製表現】

森村泰昌は、過去の名画に描かれた人物に自らが扮し、写真作品として再構成する手法で知られます。

彼の表現は、既存の作品との「対話」によって自己を見つめ、表現していくプロセスであり、複製＝発見と創造の手段なのです。

「なぞる」ことの中に「自分自身を発見する」ことが含まれている点に注目すべきです。